

令和2年度 第3回富里市教育委員会臨時会議 会議録

富里市教育委員会

- 1 期 日 令和2年5月19日(火)
開会 午後6時
閉会 午後6時55分
- 2 場 所 中央公民館3階教育長室
- 3 出席委員 教 育 長 吉 野 光 好
教育長職務代理者 森 田 恵 子
委 員 會 田 直 子
委 員 田 口 明
委 員 川 口 泰 弘
- 4 出席職員 教 育 次 長 金 杉 章 子
教 育 総 務 課 長 中 津 義 孝
参事兼学校教育課長 小 川 英 昭
- 5 事務局職員 教 育 総 務 課 小 川 正 久

令和2年6月23日

署 名 人

署 名 人

会議録作成人

1 開会宣言

【教育長】ただいまから令和2年度第3回富里市教育委員会臨時会議を開会します。

2 協議事項

【教育長】本日の案件は、協議事項として1件、市立小・中学校の再開についてでございます。事務局からの説明をお願いします。

【参事兼学校教育課長】協議事項（1）市立小・中学校の再開について協議をお願いします。緊急事態宣言の解除が予想される中、今後の学校再開に向けて、現在、準備を進めているところでございます。本日は、大きく3点の協議をいただきたいと思っております。1点目は、5月の休校期間中の再開に向けての分散登校について、2点目は、6月1日からの学校再開後の学校の対応、最後に、再開後の授業時間の確保について、方向性の3点を協議させていただきます。

まず1点目につきまして、「国の緊急事態宣言が5月21日に解除になった際の学校再開に向けて」という資料を御覧ください。本日、校長会議を臨時に行いまして、来週は学校に子供たちが滞在する時間を少し確保して、6月1日からスムーズに学校再開できるようなオリエンテーション、また、家庭学習で取り組んでいる課題について点検等をするという目的で設定させていただいております。期間としましては、5月25日から5月29日でございます。具体的な方法については、まず、全員が一斉にそろうという状況は避けるなど、いわゆる3密は避けるということをご各学校にお願いをしているところですが、具体的には、学校規模により異なりますので一律にはできません。資料に各学校の取組を一覧にしたものがあります。こちらが、各小・中学校で計画をしている登校日の日時、それから登校日に来る学年の想定です。小学校については、5月7日（木）に課題を配布した後、毎週月曜日に課題の回収と新しい課題の配布をしていましたので、来週もそれを継続しつつ月曜日以外の日時でも分散登校をする日を計画しています。分散の仕方については、規模の小さい学校は学年をそのまま集めても3密にならないので、浩養小学校のように学年別という学校もありますし、日吉台小学校のように学級内の在籍数が多い学校は、学級を2グループに分けるといような分散の方法を取るようになっています。登校回数及び活動の時間については、一覧表のとおりですが特に中学校では、受験を控えている3年生に少し手厚く分散登校の時間を作り、週3回の登校、その他の学年は、学校規模にもよりますが、週2回から3回の登校とし、学校に

滞在する時間は2から3時間を想定しています。なお、こちらは計画の段階でありますので、御意見等をいただきながら、修正等を加えていきたいと考えております。続きまして、資料の裏面の⑤を御覧ください。現在、小学校低学年及び特別支援学級の児童については、希望により預かりをしているところです。こちらは来週も継続して行います。ここ数日の様子を見ていると市内全体で30名程度の預かりとなっております。

次に、2点目につきまして、「6月1日学校再開後の各学校の対応(案)」を御覧ください。本市教育委員会の方針としましては、まず、①として、全校の児童・生徒が毎日通常の時刻に登校し、学校生活を送るということにしたいと思っております。登校時刻が重なるという部分については、各学校で、登下校や昇降口での3密を避けるような指導を事前の来週中に行う計画です。また、校舎内について、教室で過ごすことに当たっては、3密が重なることを避けることを最優先して、十分な換気、それから、可能な限り子供たちの机の配置を工夫して距離を取れるような対応をしていく方針でございます。②として、6月1日から5日までの6月第1週については、短縮の授業とします。この短縮というのは、午前中のみ授業の実施を考えております。第2週の8日からは、通常の授業としてそれぞれの日課に沿った実施を予定しております。③として、6月1日より給食の提供を予定しております。当初、栄養が取れるように通常の給食をとということも考えておりましたが、今年度は、全員がそろろうという状況を担任の先生もまだ何日も経験していない中、給食指導は、非常に時間もかかるし衛生的な指導面でも不安があるという御意見もございましたので、初めの1週間はパン・牛乳等の簡易給食を提供し、下校させたいと考えております。翌週からの給食は、給食センターで通常のメニューよりは配膳の時間が短縮できるような品数を減らし工夫した献立を考えていますので、そのようなメニューで提供していきたいと考えます。④として、学習指導についても十分な感染予防をしなければいけません。現在、明確な線引きまではできませんが、各学校の年間指導計画に基づいて、感染の危険が高い学習内容、例として調理実習、集団で行うスポーツや合唱などは、指導時期をできるだけ遅らせる、ずらすといった対策、それから学習形態についても、学び合いとして、子供たちが顔を合わせてというようなことを今まで行ってきましたが、基本的に教室では、全員が黒板の方を向いて指導を受けるという形をとっていきます。また、班やグループを組むということも、現状ではなかなかできないというふうに考えております。併せて⑤は、学校生活上の感染予防の非常に大事な部分でございます。休み時間の過ごし方として、

教室や校庭ではこのようにしましうなど、校庭遊具の使い方も十分な指導をしていかなければならないと考えております。また、トイレも数が限られている中、休み時間に子供たちが集中する場合がございますので、極端な例では、授業中でもトイレに行っていよいよしないと同日時間に行くということ避けられないなど、その辺は各学校で対応してもらいようお願いします。⑥として、新型コロナウイルス感染症を正しく理解をするということが、まだ十分にできていません。各学校には、文部科学省作成の指導資料を配布していますので、そういったもので、事前に丁寧な指導をしてもらいます。併せて、感染症等をきっかけとしたいじめ等の発生、子供たちの中には見えない感染症に対する不安を感じている子がいると思いますので、それらに対する指導も学校でしていく必要があると思います。ここまでが、学校再開後の主な方針でございます。

続きまして、⑦に記載の内容が3点目になります。今後の学習時間の確保という点で、まず、県民の日について、通常は休業日ですが、感染症予防のための休校に伴う授業時間の確保のためには、学校管理規則によっても休業日に校長の判断で授業をすることはできるということになっていますので、本日、各校長先生には市内一律に授業を行うことの内諾を得ております。ただし、給食は提供できませんので午前中の授業になるかと思ひます。また、夏休みについて、様々な報道もされている中、本市がどう判断をしていくかは決まっていますが、7月中の夏休みは授業日として設定をする必要があるとし、7月21日から31日までに7日間の登校日を設定する方針で、そして、今後の国等の動向にもよりますが8月中の登校日についても、これから検討しなければいけないと考えています。なお、中学3年生は、他の学年に比べて十分なケアをしていかななくてはいけないだろうということで、8月下旬に中学3年生を対象とした補習的な時間を確保して、塾を優先する子もいることから強制的な登校日にはできないかもしれませんが、学校で十分に対応する時間を確保していこうと考えております。説明は以上となります。

【教育長】 参事兼学校教育課長から5月25日の週の分散登校の話、それから6月1日学校再開に向けての対応、併せて給食の提供、6月15日の県民の日、夏休み中の対応、こちらは5月21日の国・県の状況等も踏まえてのことになるかと思ひますが、いろいろな話がありました。このような中で、皆様の忌憚のない御意見をいただきたいと思ひます。地域の人たちやいろいろな方の御意見等も踏まえて御意見を出していただければと思ひます。

【委員】分散登校に関しては、浩養小学校など児童が少ないところは1学級当たり十数人なので3密は避けられると思います。そういう視点で先生の人数の問題もありますが、例えば、余裕教室があるのは富里南小学校と日吉台小学校くらいでしょうか。

【参事兼学校教育課長】富里南小学校と日吉台小学校は、割と教室に余裕があります。

【教育長】きついのは七栄小学校でしょうか。

【参事兼学校教育課長】七栄小学校は、ほぼ余裕がありません。

【委員】体育館の利用について、テレビのニュースで見ましたが、体育館でホームルームを行ったというのがありましたが、一律には通用しないと思いますが、時間帯によっては3密を防ぐという意味で有効だと思います。

【参事兼学校教育課長】富里南中学校などは、体育館や多目的ルームのような場所で、既に、机を並べてある程度の距離をとって、分散登校で使用できる体制を取っています。

【教育長】新聞では、グラウンドやテニスコートに机を並べてなどの発表もありましたが、すごい距離をとっていて、そこまではどうかと思いましたが、各学校ともそういった対応は考えているようです。

【委員】分散登校で、スクールバスを使っているのは富里南小学校でしょうか。

【参事兼学校教育課長】現状の分散登校では、スクールバスの使用はなく、毎週月曜日の課題配布等の登校では、保護者に送迎をしていただいている体制です。

【委員】分散登校では、学校の規模によって対応が異なると思いますが、例えば富里小学校は、これまでの臨時休校で各学年1日しか登校していないという状況で、その間の休み中にどんな学習をしていたかなどを把握していくのは難しいと思います。それで、6月1日から一斉に午前中の授業に入るというのは、少し無理があるのではないかという感じがします。その辺はどうでしょうか。

【参事兼学校教育課長】富里小学校も、5月25日の月曜日は、もともと課題を取りにいく日でありましたが、今回は回収がメインとなり、その週はプラスもう1日の登校という形になりますが、6月1日から直ぐに通常の授業を行うのは難しいと思います。それは、富里小学校に限ったことではないと思いますが、極力、分散登校の時間の中でできることは行い、そして十分にできなかった部分は、6月1日以降、子供たちが久しぶりに集まって落ち着きを取り戻していくには時間がかかると思いま

すが、その時間の中で、課題の確認等を行っていく必要があると思います。特に、今は新しい学年の学習内容を進めるという課題に代わっていますので、そこは丁寧に確認をしないとイケません。それは各学校の校長先生にも十分をお願いをしていきます。

【教育長】その辺は、各学校でしっかりと子供たちの状況を見ながら対応することが大切です。

【委員】4月の初めの活動が、おそらく6月1日からとなり、学級組織を作るなど、そういったことから入るとするのは、大変なことだと思いますが、そういったことからしっかりとやっていく必要があります。

【参事兼学校教育課長】小学1年生は、何もわからないまま入学式だけ終えて帰ったところなので、学校の決まりを1から覚えていかないとイケません。ただ低学年は授業時数がそれほど多くはないので、丁寧にやらなくてはイケないことは、生活指導とともにしっかりと行った上で、学習に入れるかだと思います。

【委員】何よりもやはり感染が一番怖いことなので、その予防はしっかりとしていかななくてはイケないと思います。

【教育次長】せっかくここまでお子さんの感染がないように対応していただけてきたので、学校現場でも引き続きできる限りのことをする必要があります。消毒やマスクの準備、教室の配置についても机の並びまで大きく変更し、医師の意見も伺った上で換気などできる限りの予防対策を図っていきます。また感染が拡大することもあるかもしれないので、そういったことが学校現場で起こらないように、消毒などはみんなで力を合わせて行い、そういった万全の態勢でお子さんをお預かりして、4月にやらなくてはならないいろいろなことを進めながら授業につなげていきたいと思います。給食では、栄養士を含めて相談して、最初のところは短縮授業で簡易給食をとって下校というような、どうしても食事のときはマスクを外しますので、まずは簡易給食から始め、段階を踏んで通常給食を開始していく必要があると思っています。

【委員】授業について、1年を通してできなかったところを全部行うのか、それとも来年に持ち越して行うのかなど、富里市だけでなく他の地域ともそろえていかないと学力の差が出てしまうので、そこが不安です。

【参事兼学校教育課長】文部科学省から、小学6年生と中学3年生は持ち越せず、それ以外は持ち越してもいいという通知がありますが、それでは、いつまでたっても追いつかないということが危惧されます。概算ですが、4月と5月で6週分の授業ができなかったことから、週29時間の高学年では170時間程度の不足となります。これに対し、先ほどの

夏休み登校の説明の授業で、50時間近くは補填できるというふうに考えます。さらに8月に授業を少し行えば、70時間に近づくぐらいは補填できるかと思います。しかし、夏休みを短くすればするほど授業時数の確保はできますが、時数ばかりを追いかけて夏休みを極端に縮めることが子供たちにとって本当にいいことなのか、それで効率的な指導になるのかということも検討をしているところです。文部科学省は、標準時数を下回ることは違法ではないとしています。年間を見通した時にどれくらい削減というか、例えば、小学校の総合的な学習での狙いが違う教科の中で達成できないかというような、うまく組換えをしていく中で、削減できる時数も出てくると思います。そして、水泳指導もこの状況では無理であるという判断をしたとき、その分も大分浮いてきます。また、運動会などの行事も検討する必要がありますが、仮に9月の運動会を実施しない場合、当初予定されていた運動会の練習時間も大分教科に移せます。そのように総合的に見ていけば、年度内に無理なく授業時数を確保する方向も見えてくると思います。今は机上の話ですが、そうした検討を進める必要もあると考えています。

【委員】 中学3年生や高校3年生には、受験でその部分が弱くなってしまうことが不安です。

【教育長】 県の方では、この5月から6月に来年度の問題を作成するので、この状況は考慮されると考えられます。授業時数という話が出ていますが、確かに大切な話ですが、一番は子供たちの理解力だと思います。時間をかけたからといって、すべてわかるということではなく、その子に合わせた理解度をしっかりどこまでつけさせるかというようなことが重要なのではないかと思います。

【委員】 先週から新しい学年の課題が出されて、自宅に持ち帰って子供たちがやっていると、私などはついていられるので、わからないときは教えることもできますが、教科によっては記述式のものが多かったりして、子供たちは大変だろうなと思いつつ見えています。そうすると、ある程度、課題をこなしている子供とそうではない子供がいるのではないかと、家庭の状況によって学習の身に付き方に差が出るのが心配です。

【委員】 例えば、本来3時間の学習について、ある程度把握できたので2時間にしましょうなどというようなことがあるのでしょうか。

【参事兼学校教育課長】 この休校中、先生方は、当然に再開後の指導という部分の十分な教材研究をしています。なかなか新しい指導要領で目指している授業を丁寧に行うというのは、今年度は難しいかもしれませ

ん。しかし、効率的に指導をしていくという部分で、時間短縮は図れるというふうに考えております。

【教育長】 今回の家庭学習の課題について、1週間程度で回収をして、先生方がしっかりとその状況を見ることで、登校してきたときにそれぞれの生徒への対応につながると思います。テストをやっているような状況に近いので、課題がどこまで進んでいるとか、理解度などを1週間に1回見ていくわけです。子供たちが聞いてきたことに対して先生が直ぐに応えるということは厳しい、そこは危惧していますが、個々の子供たちの今の進捗というのはわかりやすい状況かと思えます。

【委員】 課題の進捗などは把握していると思いますが、授業と比較すると差の幅が広く、5月なり6月で授業を始める場合、どのスピードで行っていくかというのが大変だと思います。そのためにも、夏休みの授業日数のある程度確保した方がいいと思います。近隣市でも、夏休みを8月の2週間程度と既に発表した団体があります。授業日数について、夏休みをはじめ冬休みや春休みの時間もある程度考慮して、受験を控える学生では夏休みの塾などの話も出てくるでしょうから、何日間というように明示した方がいいと思います。

【教育長】 中学3年生の学習支援につきましては、夏の後半あたりでの実施を考えております。

【委員】 中学3年の受験生では、夏休みに塾に行くことがあると思います。そのようなことも踏まえ、夏休みは2週間程度というのが現実的ではないかと思えます。

【委員】 千葉県内を見ても、8月の6日や7日から21日までの約2週間を夏季休業とするというような団体の発表があります。

【委員】 子供には夏休みはいっぱい休んでほしいという気持ちがありますが、今回の夏休みは8月中の何日間としてもいいかと思えます。

【教育長】 最終結論は、事務局としても夏休みのことに関してはまだ決定していませんが、近隣市町の動向を見ながら決めていきたいと思っています。

【委員】 早く伝えてもらえた方がいいと思います。

【教育長】 5月21日の状況を見て、ある程度その辺を想定していかなくてはいけないと思っています。

【委員】 給食提供についても同様に伝えてほしいと思っています。

【教育次長】 夏の給食の提供について、一斉に配送される学校の配膳室にはエアコンがないので、給食の安全を考えると8月の暑いときには不安があります。家からお弁当を持ってきてもらえれば、教室はエアコンが

効きますのでそのほうがいいのではと思います。パンと牛乳などの簡易な給食を準備するか、各自お弁当の持参をお願いするかなどの方法を考えていくしかないと思います。

【教育長】提供するもので体調を崩してしまうことのないように、御家庭の協力もいただきながら対応を考えたいと思います。

【委員】運動会の中止などの話がありましたが、卒業生には最後となるので、できれば行わせてあげたいという気持ちはあります。

【教育長】中学3年生には、部活で頑張ってきたのに大会がなくなってしまい、最後のこれが終わって受験に向かうという切り替えのようなものがなくなってしまうようにも感じます。

【委員】感染症予防に配慮した学校生活をおくる指導については、休み時間の過ごし方など教室でおとなしくしているということは、かなりつらいのではないかと気になります。

【教育長】やはり心のバランスというか、その辺をやはり心配しなくては、我々はどうしても学力のところに向きがちですが、やはりその辺も気をつけなくてははいけません。

【委員】このところ私は、スーパーなどに混まない時間を見計らって行くと、本当に子供たちの姿を見ることがありません。子供たちは、課題が大体5時間目までで午後2時半くらいに終わるようになっていて、どんなふうにかまではわかりませんが、学校から与えられた課題に一生懸命に取り組んでいるのだろうと思います。そして、子供たちの姿は、午後の4時くらいになると結構あちこちで見られるようになるのです。そのように頑張っているから、学校が再開したら、きっと子供たちは発散したいのだろうと思います。

【教育次長】再開後の学校では、外に出て走り回れる時間などを学年別で決めるのもいいと思います。

【委員】無理なく確実に進めていただきたいと思います。また、細かいことですが、暑くなってきたので子供たちも1日のうちにマスク交換をしたいと思うことが予想されます。

【教育次長】学校の方では、マスクを準備しています。洗えるマスクも寄附をいただいていますので、洗って使うことも想定しています。

【教育長】他に御意見などはいかがでしょう。

【委員】給食の件ですが、当分は説明の案でいいと思いますが、ある程度落ち着いたときには、通常に戻してもらいたいと思います。

【教育長】そのように思います。ただし、スタート時は厳しいと思いますので、そのところは御理解をいただきたいと思います。

【委員】 浩養小学校では、通常時は全校一緒にランチルームで給食を取っていただきましたので、残菜が少なかったと思います。

【教育次長】 給食の内容では、今のところ、配膳などで人が触る機会を極力減らしたいということから、最初はパンと飲物など簡易なものから始め、2週目からは品数は少ないものの量を増やしていき、その後、徐々に通常の品数に向けていきたいと考えています。ただし、感染拡大防止を前提にしてということになります。

【教育長】 他に御意見などはいかがでしょう。

(ない旨の声あり)

【教育長】 他にないようです。それでは、事務局の提案を御了承いただくということでもよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

【教育長】 ありがとうございます。本日、皆様にお集まりいただいたのは、こういう状況のことです。皆様からしっかりと御意見をいただきたいと考えたからです。遅い時間の設定で申し訳ありませんでしたが、貴重な御意見をいただき感謝しています。

3 その他

【教育長】 次に、その他として、何かございましたらお願いいたします。

(ない旨の声あり)

【教育長】 その他として、特にないようでございます。

4 閉会宣言

【教育長】 それでは、以上をもちまして、令和2年度第3回富里市教育委員会臨時会議を閉会します。